

# 日配品食品口入調査結果速報

令和 4 年 3 月

## 調査実施概要

## 調査目的

- 食品ロス削減が重要となるなか、消費/賞味期限が短い日配品は在庫可能期間が短く、食品ロスが発生しやすい。また、物流効率化が課題となるなか、持続可能なサプライチェーン構築に向けた取り組みも求められる。
- 本アンケートでは、小売店の日配品の食品ロス発生状況、食品ロス削減及び日配品サプライチェーンの見直しの取り組み状況を調べる。そこから今後の日配品の食品ロス削減及びサプライチェーン変革の方向を検討する。

## 調査対象

- 総合スーパー、食品スーパー、生活協同組合、ドラッグストア

## 調査方法

- 郵送調査

## 調査期間

- 令和4年2月～

3

## 調査項目

### 概要

- 年間売上高
- 日配品の主要カテゴリーの年間売上高

### I 納品条件

- 発注リードタイム（定番商品、特売、新商品）
- 発注予定数量に関する情報共有のタイミング及び情報共有の内容
- 納品期限及び販売期限

### II ロスの実態と対応

- 値引ロス率及び廃棄ロス率
- 日配品のロス削減の取り組み内容及びその評価

### III 欠品について

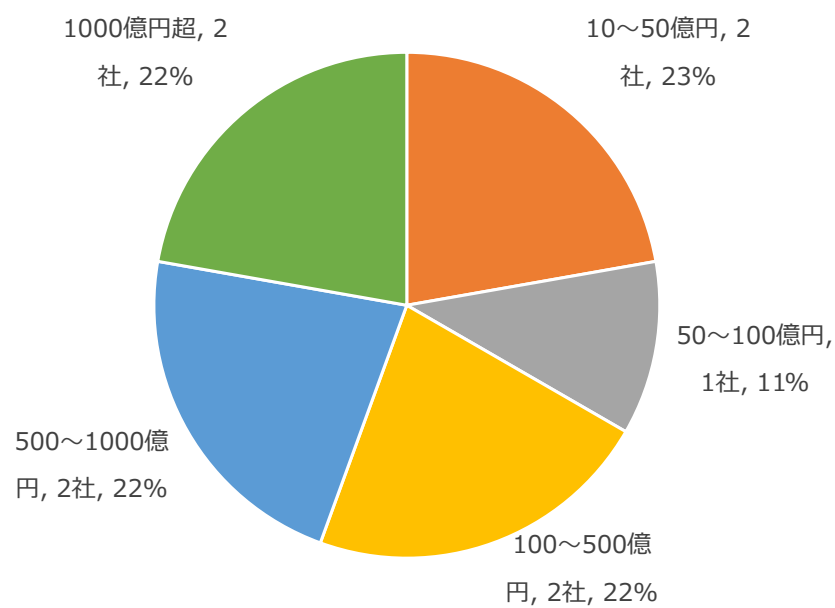
- 日配品の店舗での欠品率及びその評価
- サプライチェーン全体で生じるコストの低減につながる取り組み（※）を行う場合、どの程度、欠品率上昇を許容することができるか  
（※）店舗における納品・品出し頻度の削減や納品リードタイムの緩和など
- 欠品許容率及び欠品許容品の設定
- 欠品発生時の消費者理解を得るための取り組みの状況

### IV サプライチェーンに関する取り組み

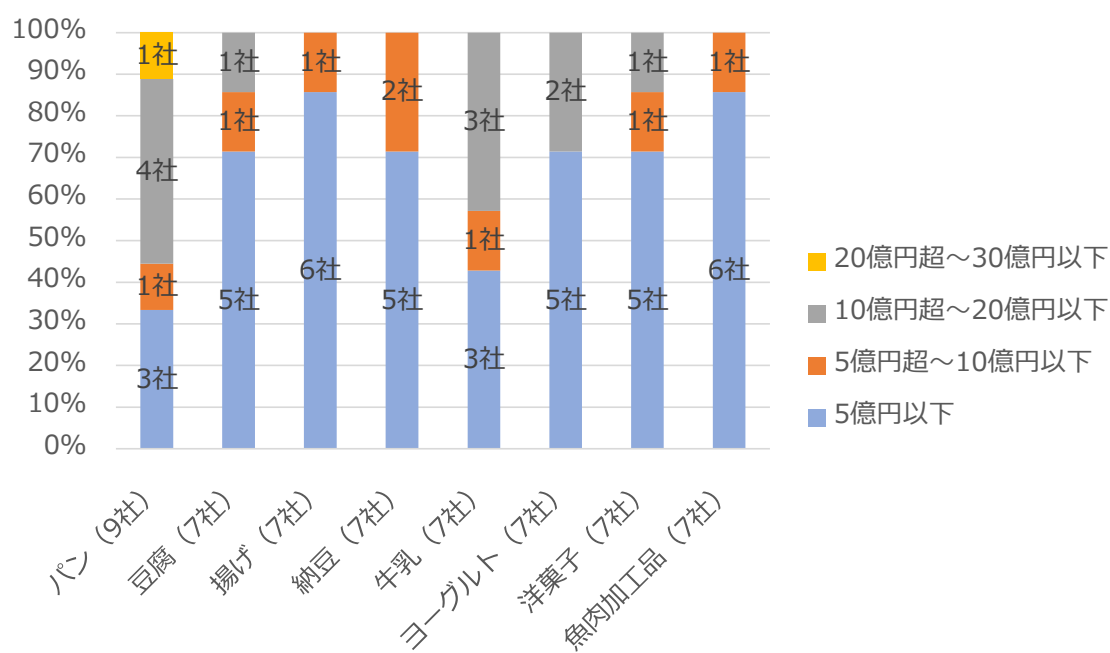
- サプライチェーンの見直しにつながる取り組みの状況及びその評価
- どのような条件が整えば、納品や輸配送条件などのサプライチェーンの効率化にかかる取り組みを進めることができるか

4

年間売上高



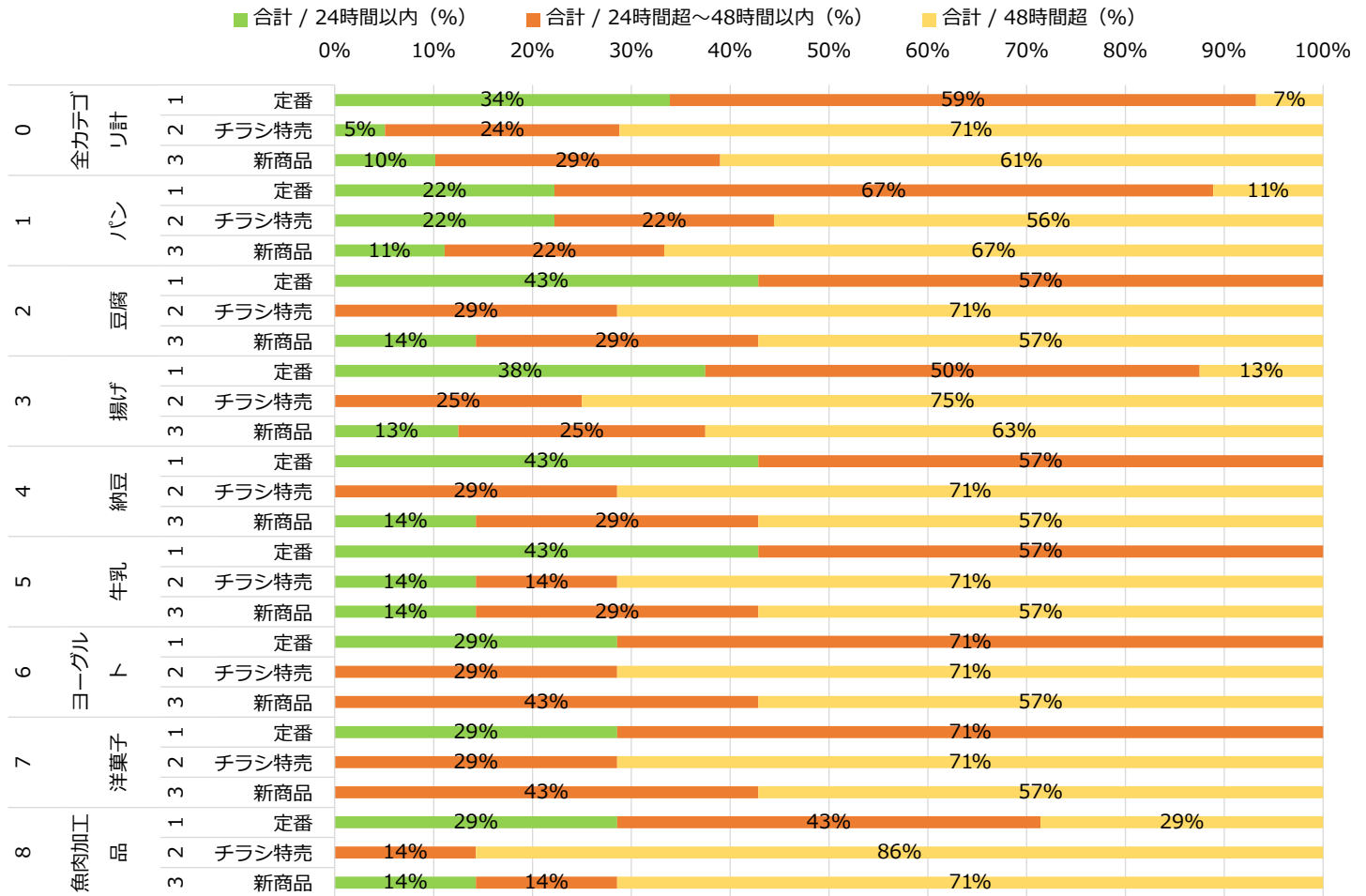
年間売上高  
(取り扱いがないと回答したカテゴリーは集計から除外)



# 調査結果

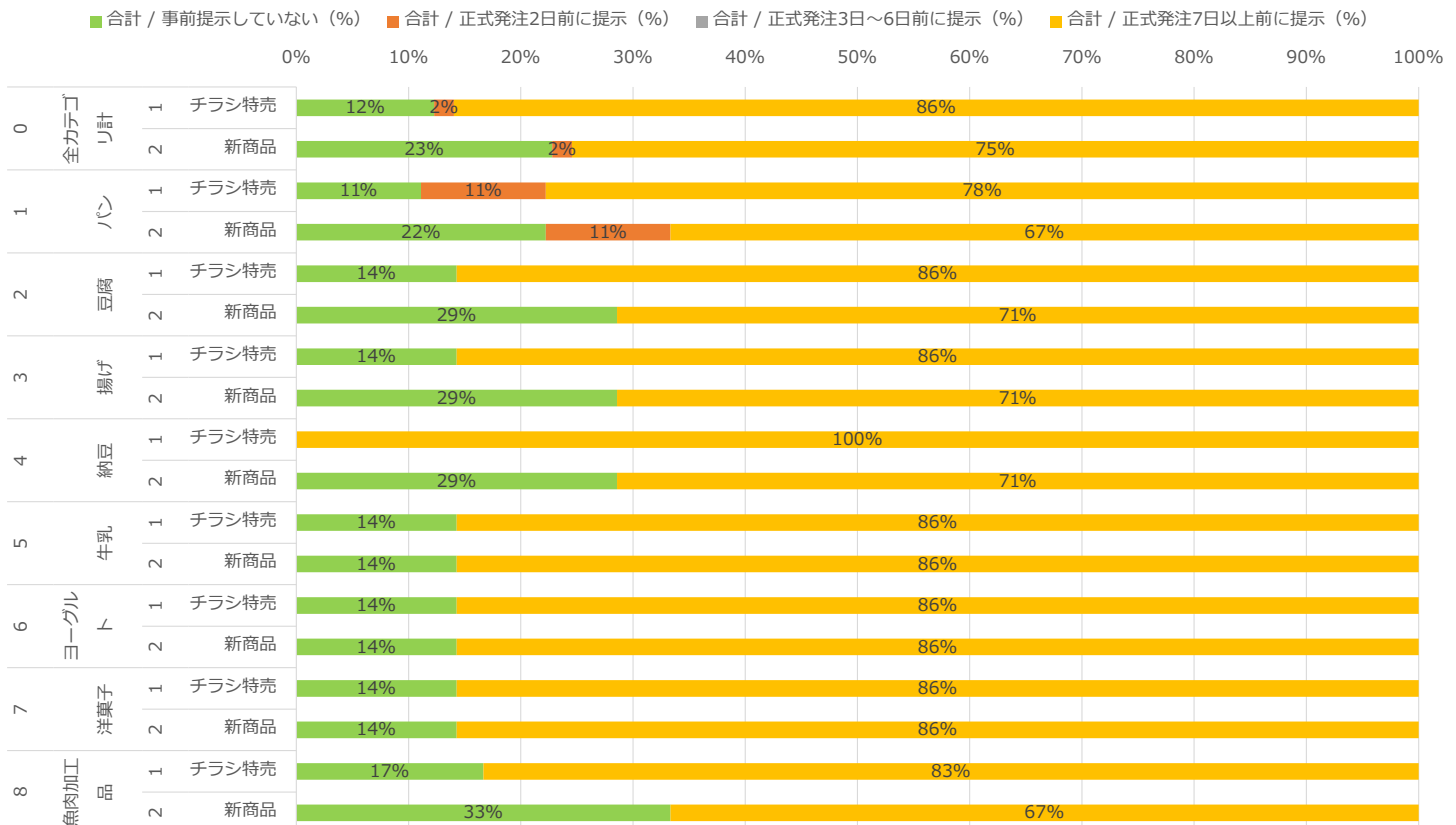
## I 納品条件

発注リードタイム（定番商品、特売、新商品）  
（取り扱いがないと回答したカテゴリは集計から除外）



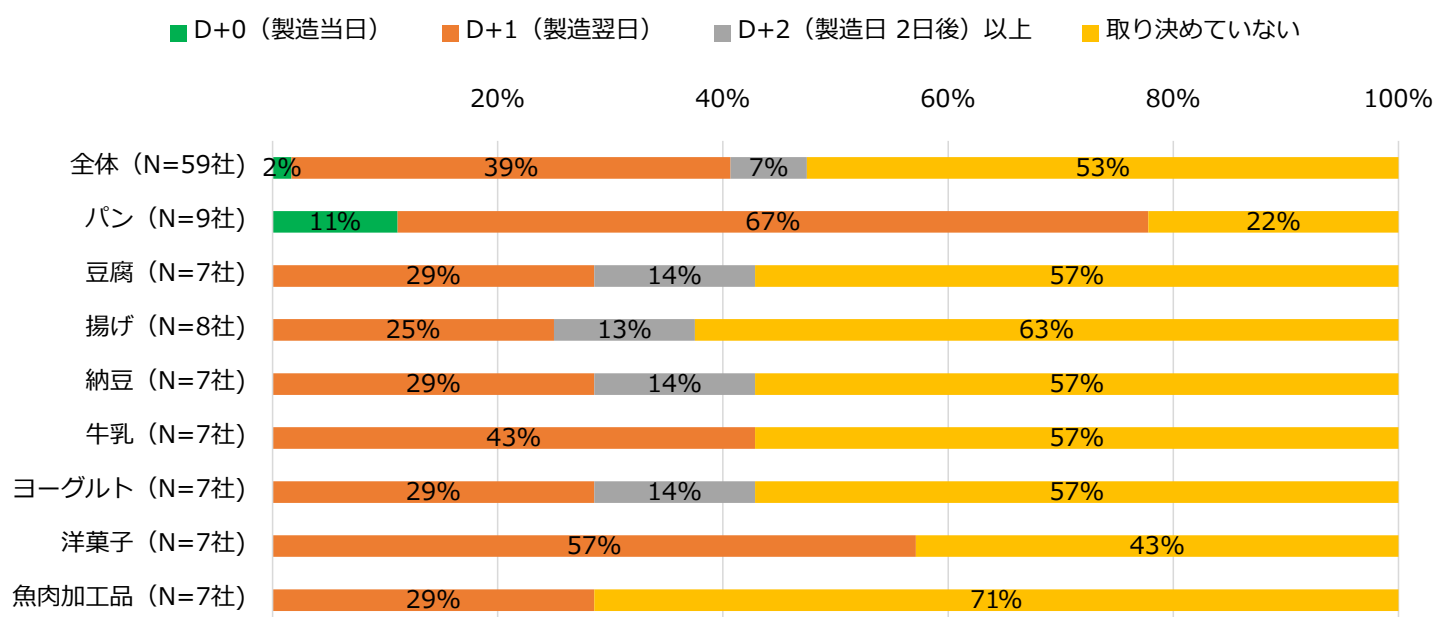
9

発注予定数量に関する情報共有のタイミング（特売、新商品）  
（取り扱いがないと回答したカテゴリは集計から除外）



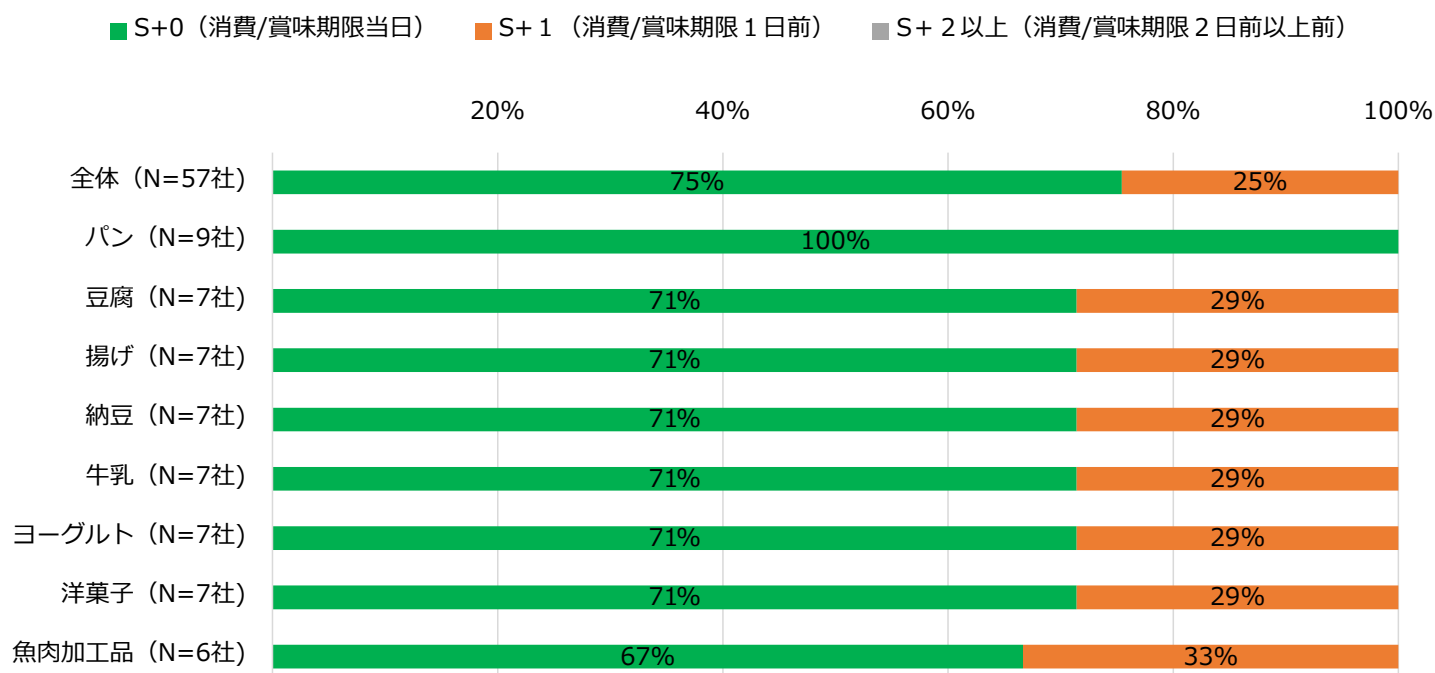
10

## 納品期限の設定状況



11

## 販売期限の設定状況

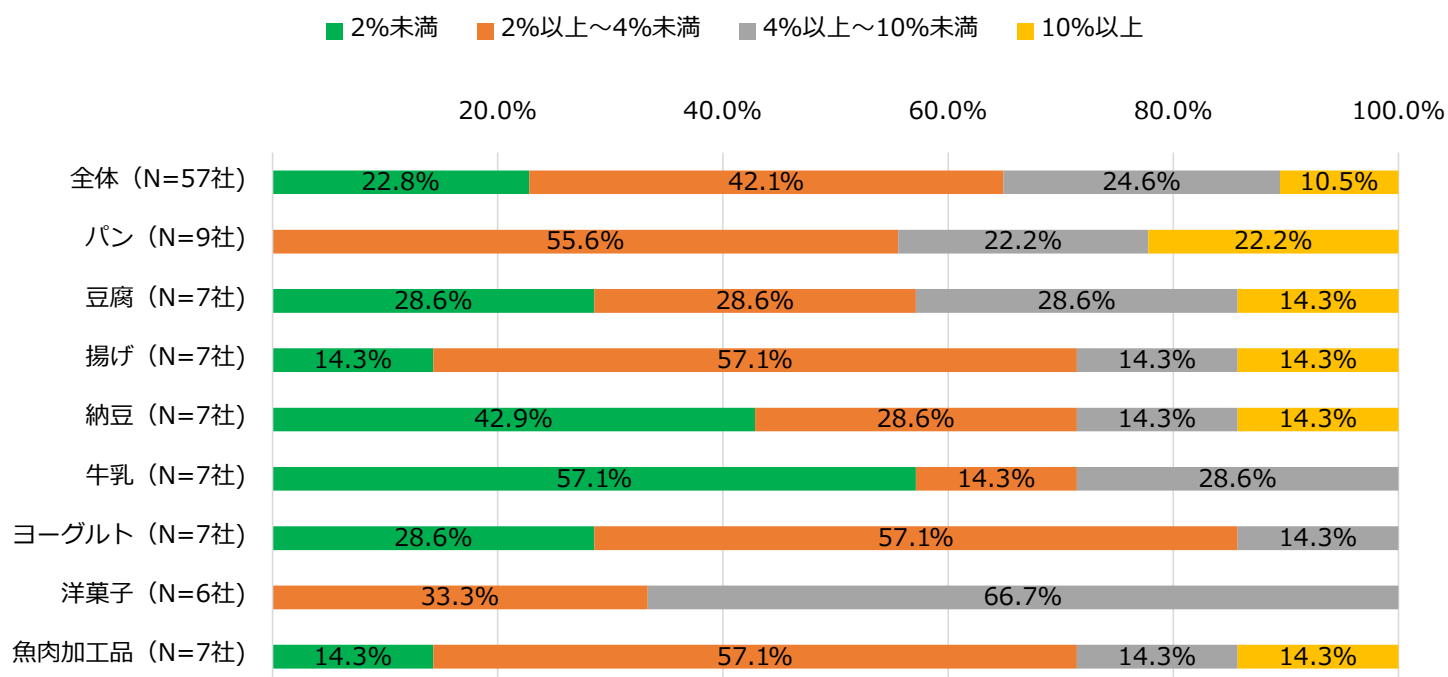


12

## Ⅱ ロスの実態と対応

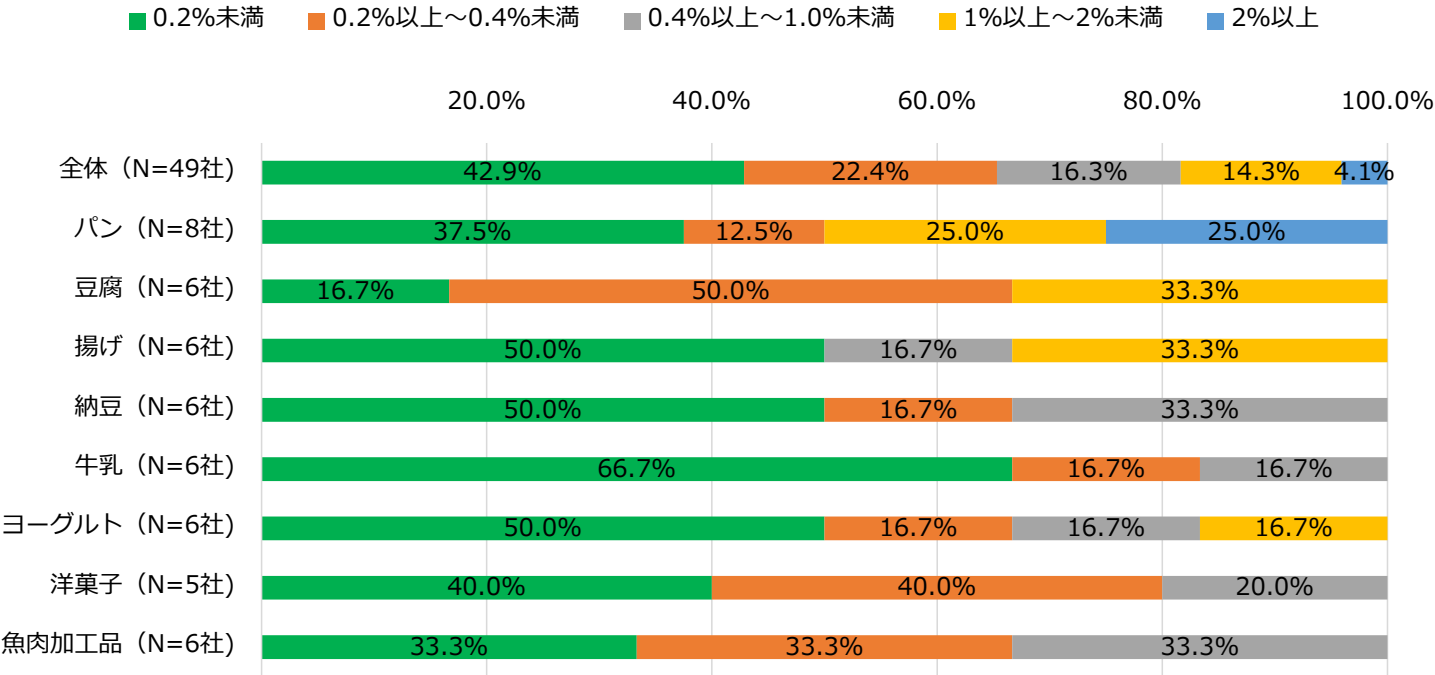
13

### 値引ロス率



14

廃棄ロス率

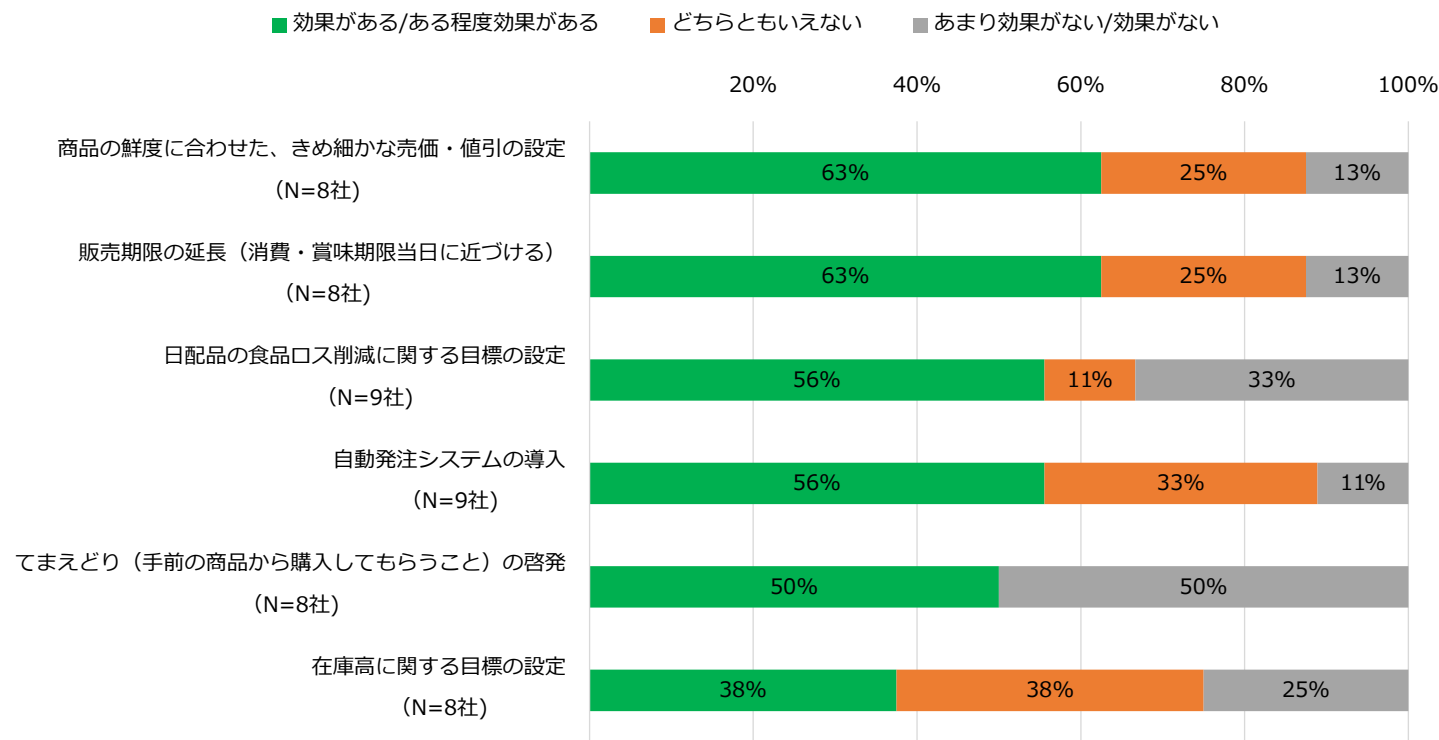


カテゴリ別の売上高、値引及び廃棄の状況

項目	パン	豆腐	揚げ	納豆	牛乳	ヨーグルト	洋菓子	魚肉加工品	合計
推計対象売上高（百万円）	6,500	3,250	1,750	2,500	4,500	4,000	3,000	1,500	27,000
構成比	24%	12%	6%	9%	17%	15%	11%	6%	100%
値引金額（百万円）	195	72.5	62.5	50	60	85	160	45	730
構成比	27%	10%	9%	7%	8%	12%	22%	6%	100%
値引率	3.00%	2.23%	3.57%	2.00%	1.33%	2.13%	5.33%	3.00%	2.70%
廃棄金額（百万円）	24	15	12	5	7	12	13	4	90
構成比	26%	17%	13%	6%	7%	13%	14%	4%	100%
廃棄率	0.36%	0.47%	0.67%	0.20%	0.14%	0.29%	0.42%	0.23%	0.33%



日配品の食品ロス削減の取り組み効果についての認識



17

カテゴリ別の食品ロス削減の取り組み状況

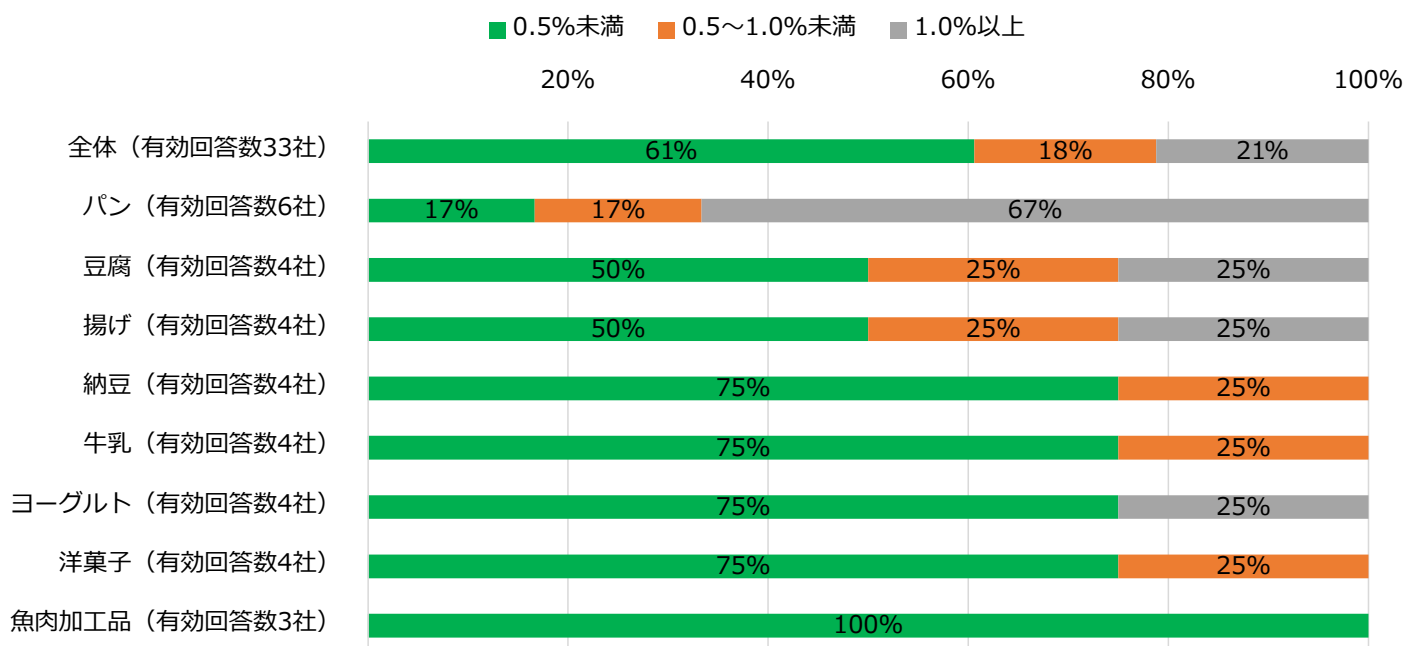
合計 / 実施率		1	2	3	4	5	6	総計
		日配品の食品ロス削減に関する目標の設定	在庫高に関する目標の設定	商品の鮮度に合わせた、きめ細かな売価・値引の設定	自動発注システムの導入	販売期限の延長（消費・賞味期限当日に近づける）	てまえどり（手前の商品から購入してもらうこと）の啓発	
1	パン	78%	44%	44%	33%	33%	44%	46%
2	豆腐	43%	14%	29%	43%	14%	29%	29%
3	揚げ	43%	14%	29%	57%	14%	29%	31%
4	納豆	29%	14%	29%	43%	14%	29%	26%
5	牛乳	57%	14%	29%	43%	14%	29%	31%
6	ヨーグルト	43%	29%	29%	43%	14%	43%	33%
7	洋菓子	43%	29%	29%	43%	14%	14%	29%
8	魚肉加工品	43%	29%	29%	57%	14%	29%	33%
総計		48%	24%	31%	45%	17%	31%	33%

18

# Ⅲ 欠品について

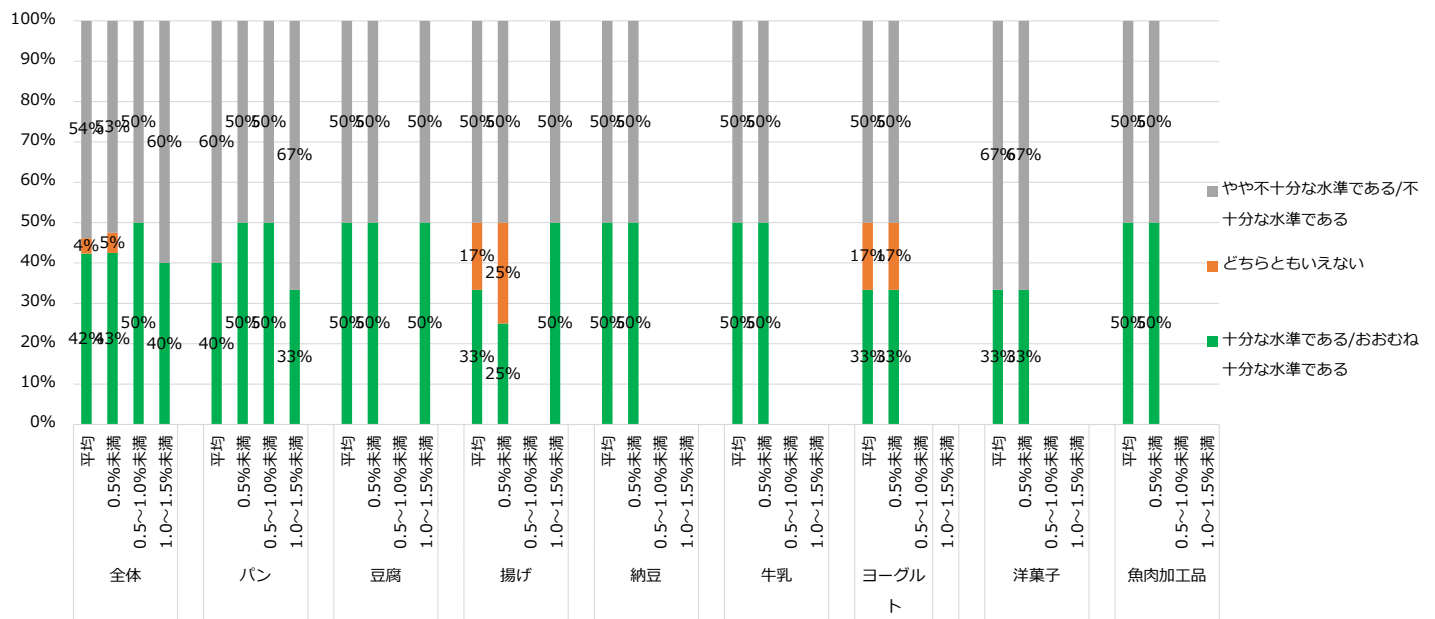
19

## 日配品の店舗での欠品率（商品ベース）



20

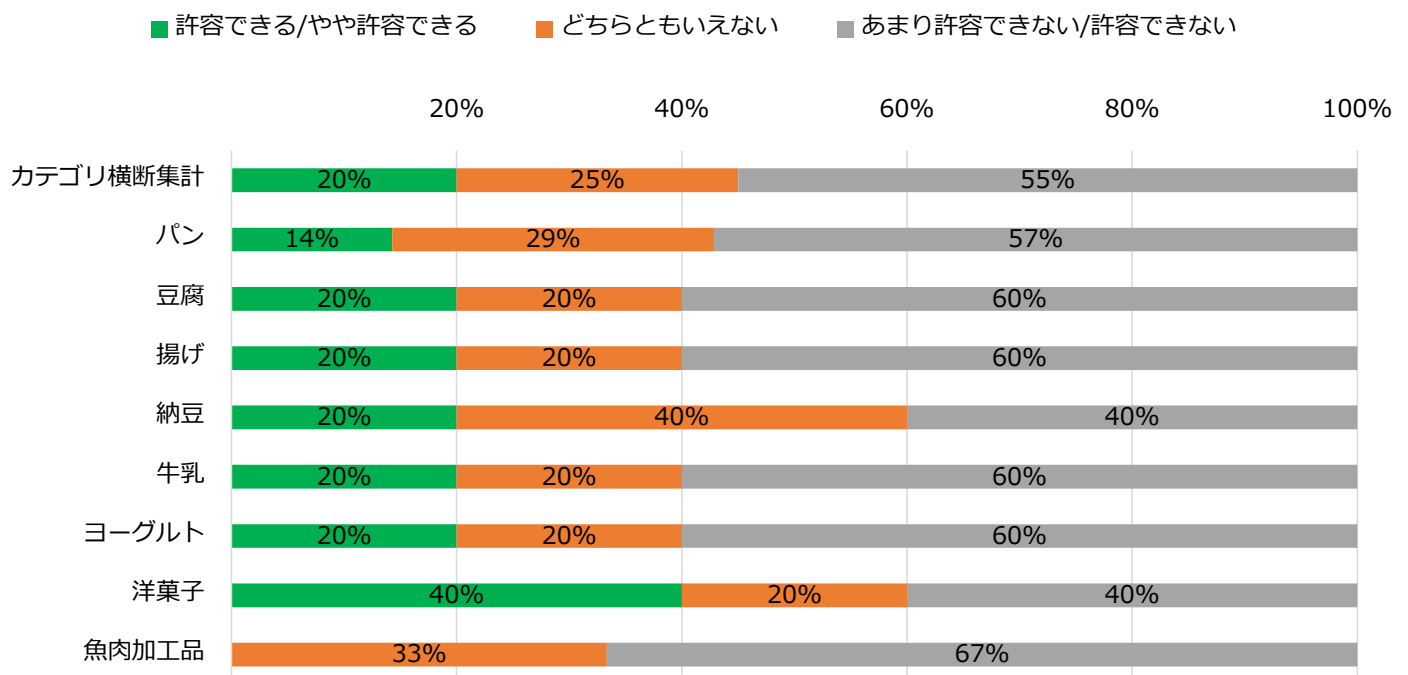
## 日配品の店舗での欠品率についての評価



21

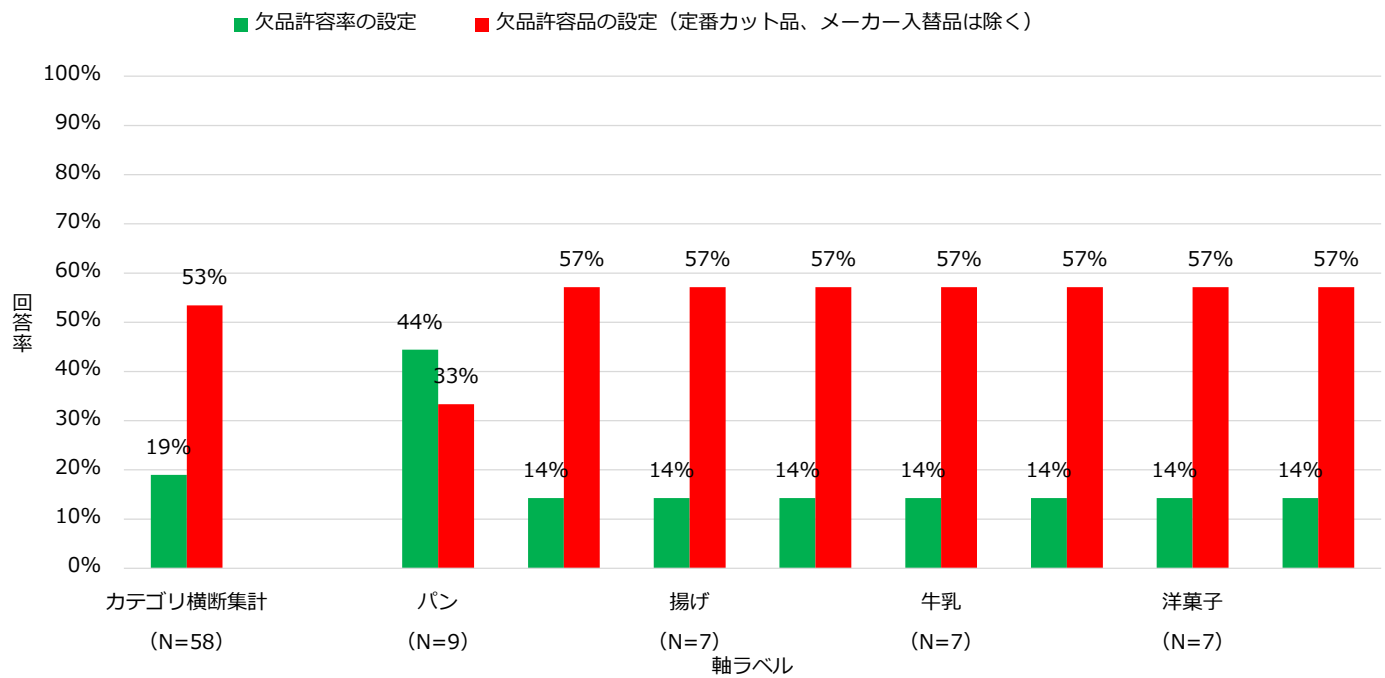
サプライチェーン全体で生じるコストの低減につながる取り組み（※）を行う場合、どの程度、欠品率上昇を許容することができるか

（※）店舗における納品・品出し頻度の削減や納品リードタイムの緩和など



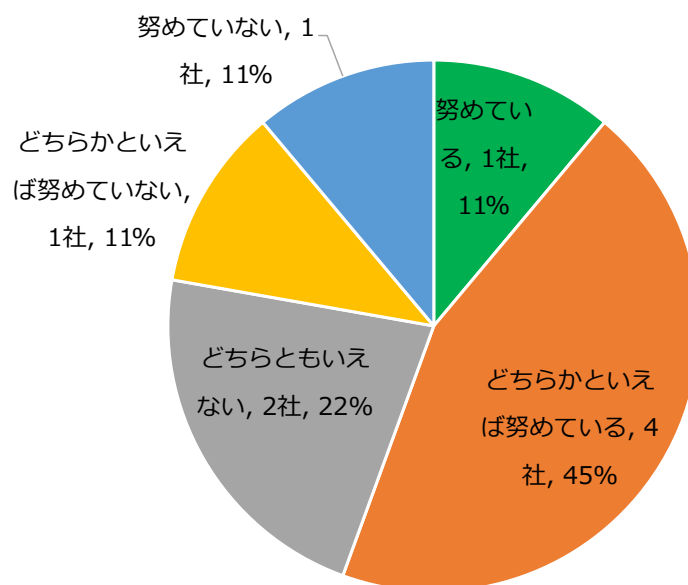
22

## 欠品許容率及び欠品許容品の設定



23

## 欠品発生時の消費者理解を得るための取り組みの状況



24

# IV サプライチェーンに関する取り組み

サプライチェーンの見直しにつながる取り組みの状況

合計 / 実施率		0	1	2	3	4	5	6	7
		取り組み横断集計	発注リードタイムの延長	納品頻度の削減	納品期限の緩和	店頭欠品率目標の緩和	店頭欠品許容品の拡充	仕入先との発注情報の共有の早期化	仕入先の納品精度（欠品率）目標の緩和
0	カテゴリ横断集計	6%	6%	1%	1%	1%	1%	23%	9%
1	パン	16%	30%	10%	10%	10%	10%	40%	0%
2	豆腐	4%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	10%
3	揚げ	4%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	10%
4	納豆	4%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	10%
5	牛乳	6%	10%	0%	0%	0%	0%	20%	10%
6	ヨーグルト	6%	10%	0%	0%	0%	0%	20%	10%
7	洋菓子	6%	0%	0%	0%	0%	0%	30%	10%
8	魚肉加工品	3%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	10%

サプライチェーンの見直しにつながる取り組みの評価

項目	影響はなかった	売上が減少した	在庫が増加した	廃棄率が上昇した
発注リードタイムの延長	50%	0%	10%	0%
納品頻度の削減	20%	0%	0%	0%
納品期限の緩和	40%	0%	0%	0%
店頭欠品率目標の緩和	20%	0%	10%	0%
店頭欠品許容品の拡充	30%	0%	0%	0%
仕入先との発注情報の共有の早期化	60%	0%	0%	0%
仕入先の納品精度（欠品率）目標の緩和	30%	0%	0%	0%
平均	36%	0%	3%	0%

27

どのような条件が整えば、納品や輸配送条件などのサプライチェーンの効率化にかかる取り組みを進めることができるか

合計 / 回答率		1	2	3	4	5
		売上や値引、廃棄への リスクがないことがわ かれば実施する	競合他社が取り組みば 自社も実施する	食品ロス削減効果が明 らかにできれば実施する	物流効率化効果が明ら かにできれば実施する	取り組んでいることを PRできる登録店制度 やツール提供があれば、それを活用して実 施する
1	発注リードタイムの延長	44%	11%	33%	44%	11%
2	納品頻度の削減	67%	0%	33%	33%	11%
3	納品期限の緩和	56%	11%	33%	11%	11%
4	店頭欠品率目標の緩和	78%	11%	0%	11%	11%
5	店頭欠品許容品の拡充	89%	11%	0%	11%	0%
6	仕入先との発注情報の共有の早期化	56%	11%	0%	11%	11%
7	仕入先の納品精度（欠品率）目標の緩和	56%	11%	11%	0%	0%
総計		63%	10%	16%	17%	8%

28